

群馬ブランド
世紀
21[®]
SUPER SILK
経糸・緯糸5A以上使用



日本蚕糸絹業開発協同組合

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町3-5-3 TEL / FAX 027-361-2377

協力 / 群馬県稚蚕共同飼育所連絡協議会・世紀二一養蚕農家・碓氷製糸農業協同組合・他



世紀21 白生地 冬物

「世紀21」の生糸を100%使用し製織。
※優れた染色性を誇る白生地。



世紀21 白生地 夏物	世紀21 白生地 冬物	世紀21 黒紋付地 夏物	世紀21 黒紋付地 冬物
-------------------	-------------------	--------------------	--------------------



世紀21 黒紋付地 冬物

「世紀21」の生糸を100%使用し製織。
※槐（「えんじゅ」中国では尊貴の木として尊重されている）の樹液の重ね染で、より深い黒に染め上げ、防帯電・防水・防汚・防虫効果の優れたクリスタルガード加工を施した黒紋付地。



世紀21 白生地 夏物

「世紀21」の生糸を100%使用し製織。
※優れた染色性を誇る駒絹白生地。



世紀21 黒紋付地 夏物

「世紀21」の生糸を100%使用し製織。
※槐（「えんじゅ」中国では尊貴の木として尊重されている）の樹液の重ね染で、より深い黒に染め上げ、防帯電・防水・防汚・防虫効果の優れたクリスタルガード加工を施した駒絹黒紋付地。





「世紀21」の全ての製品は、その良質な絹糸がゆえに染め付きが非常に良く、着心地も大変ご満足いただける品質に仕上がっており、気品ある風合いを奏でる格調高く美しい逸品です。

また、UVカット・防汚・防水・帯電防止・防虫効果など大切なきものを守る様々な加工を施しています。



群馬県産絹糸
伝統工芸士
裕

日本の絹
絹50号

群馬ブランド
世紀
21
SUPER SILK
絹糸・絹糸5 A以上使用

皇室献上品
絹糸工場選別

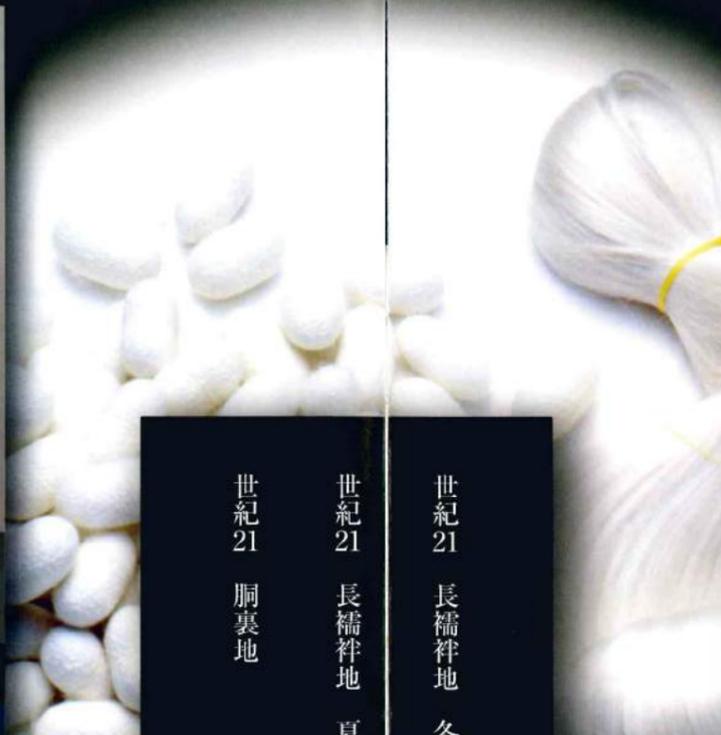
品質保証書

気品ある装いを支える
格調高い裏衣の世界



世紀21 長襦袢地 夏物

「世紀二一」の生糸を100%使用し製織。
※保湿効果、抗菌効果のあるアロエ/
キトサン加工を施した駒紹長襦袢地。



世紀21
胴裏地

世紀21
長襦袢地 夏物

世紀21
長襦袢地 冬物



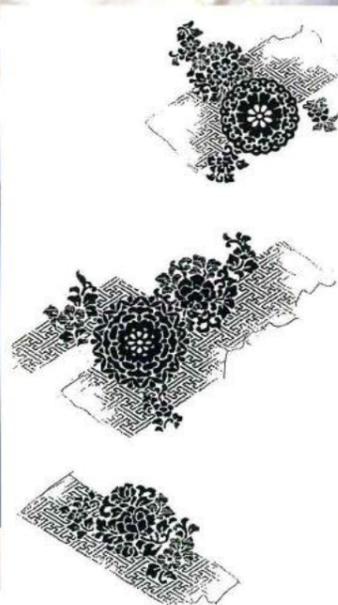
世紀21 長襦袢地 冬物

「世紀二一」の生糸を100%使用し製織。
※保湿効果、抗菌効果のあるアロエ/
キトサン加工を施した長襦袢地。(3柄)



世紀21 胴裏地

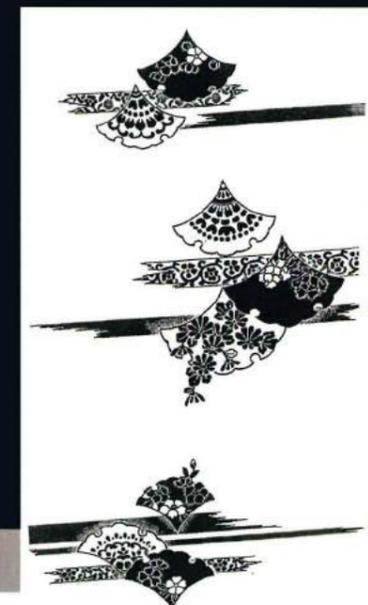
よこ糸に「世紀二一」、たて糸に「ぐんま200」の生糸を使用し製織。
UVカット、防汚、撥水など数々の複合的シルクケア機能を持つパーリー
加工を施した裏絹。



No.1 沙綾型雲に花紋



No.2 流水に七宝



No.3 雪輪扇



洗練された蚕『世紀21』が奏でる繭の芸術

その卓越した生糸が織り成す絹の世界



Seiki 21 Super Silk Premium

今

から約5千年前に中国で始まったと伝えられる蚕糸の歴史は日本にも弥生時代に伝えられました。三世紀の「魏志倭人伝」には、邪馬台国の卑弥呼が絹織物を中国の皇帝に献上したことが記されています。

群馬県では、約千二百年前奈良時代の初期から朝廷に「あしぎぬ」が貢納され、現在でも正倉院の御物として保存されているように、古くから繭・生糸・絹織物の産地として揺ぎ無い地位を築いてきました。

その歴史と永年の英知と技術を結集して生まれたのが『世紀21』です。



世

紀21は、絹の需要が多様化し、高級絹製品向けの特徴ある生糸が要望されていた中、13年を要して群馬県蚕業試験場（現 群馬県蚕糸技術センター）が日本種交雑原種「世紀」と中国種交雑原種「21」とを交配、育成・研究を重ね、平成3年3月、農林水産大臣から指定を受けた群馬県のオリジナル蚕品種です。

その後さらに研究、改良が加えられ、この蚕が立派な繭『世紀21』をつくり生糸に紡れ、ここにすばらしい究極の製品（世紀21）の誕生へとつながりました。

『世紀21』は一般普通品種の繭に比べて約13倍も長く糸を挽き出すことができ、織度も細く、約2.4デニールという極めて優れた特徴を持つ繭です。普通品種の繭では繭糸の長さが、約1200mに対し、『世紀21』は約1500mの繭糸を挽き出します。

また『世紀21』は染色性が非常に優れ、染め上がりが大変美しく、優美なシルクの世界を演出します。

日

本の養蚕農家では、ずっと昔から蚕のこゝとを、「お蚕さま」「お子さま」とも呼び、本当に心の底から大切な虫、ありがたい虫として大切にしてきました。蚕はふ化してから25日あまりで繭をつくります。その間約25gの桑の葉を食べ4回の脱皮を繰り返し、ふ化した時の体重の1万倍以上にもなり、立派な『世紀21』の繭となります。

蚕をわが子のように大事に育てあげる養蚕農家一人一人の顔がみえる心のこもった手作りの繭が『世紀21』です。



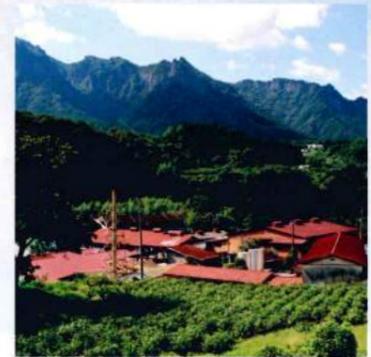
【純国産絹マーク】
 (社)日本絹業協会では、国産の繭から繰糸した生糸等を用いて国内で生産された純国産絹製品の識別を容易にするため、製品の生産履歴が表示された純国産絹マーク(シール等)を交付しています。
 (平成20年3月28日制定)



【「ぐんまシルク」認証シール】
 群馬県では群馬県ブランド奨励蚕品種の繭を原料とした生糸または絹製品の生産・販売促進及びブランド化を図るため、「ぐんまシルク」認定委員会にて「ぐんまシルク」として認定されたものにシールを交付しています。
 (平成11年3月2日制定)

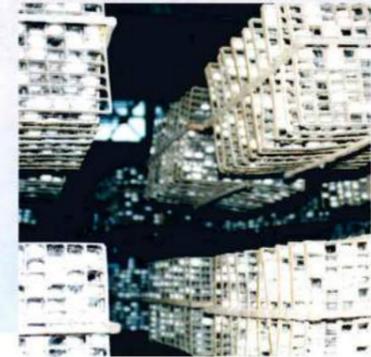


【「純日本の絹」シール】
 日本蚕糸絹業開発協同組合では、群馬県ブランド奨励蚕品種繭及び純国産繭から繰糸した生糸を用いて国内で生産した絹製品に「純日本の絹」シールを添付しています。
 (平成17年12月22日 商標登録)



うすい 碓氷製糸農業協同組合

上毛三山の一つ妙義山の荒々しい岩肌がせまり、碓氷川の清流のほとり。糸づくりに最適の環境です。



じょうさく 上 蔟

成長しきった蚕は桑を食べるのを止め、回転蔟に入れられ、ほぼ2昼夜休みなく糸を吐き続け、立派な繭をつくりあげます。



せんけん 選 繭

汚れた繭や、いびつの繭を取り除き、選りすぐられた繭だけが煮繭・繰糸を経て生糸になります。



ぞうし 繰 糸

碓氷川の清流の水を利用し、数個の繭からほぐれた糸を抱き合わせ一本の生糸にします。



おひかえ 揚 返し

繰糸された濡れたままの生糸を乾燥させながら、更に巻き取り返します。



仕上げ 出荷

最終の品質検査をされた「世紀二一」の生糸はきれいに束ねられ、織物工場に向け出荷されます。

雄大な自然の中で育まれる、群馬県の純国産シルクの世界は、ついに「世紀二一」という画期的なブランド品種を創りあげました。

ミネラルを豊富に含んだ不純物の無い天然の水と栄養分の豊富な桑の飼料によって育てられた蚕「世紀二一」は、細く強く長い糸を作り出します。

「世紀二一」の生糸は、妙義山の麓に位置し、自然の崇高な山々に囲まれた日本最大の製糸工場「碓氷製糸農業協同組合」で丹念に作られています。

優れた技術と長年に渡って築かれてきた生糸生産の英知によって確かな品質が裏付けられています。

